



- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日
講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日
講師/久米えみさん ながのクラッセ会長
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日
講師/鷺沢幸一さん アスレながの事務局長
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日
講師/清水隆史さん フォトグラファーほか
常盤昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェエダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日
講師/竜野泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日
講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日
講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ピオトープ」/長野市をピオトープネットワークシティに 平成19年11月14日
講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピがでてるまで 平成20年3月26日
講師/浜このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日
講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日
講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日
講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野ハルセイロー優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日
講師/バドゥ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、奥富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日
講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践ー宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みるー 平成21年6月3日
講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日
講師/小出陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日
講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日
講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっごらしょ/代表理事
- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日
講師/薩川了洋さん AC長野ハルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぱ〜 平成22年5月25日
講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日
講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J ～J”を長野に…いよいよ地域決勝大会!～ 平成22年10月25日
講師/鈴木政一さん 長野ハルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日
講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表・ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日
講師/川崎史郎さん フリーライター・市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日
講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジストー茶ー 平成23年8月30日
講師/マブソン青眼さん 俳人・比較文学者

- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日
講師/井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日
講師/田幸淳男さん 信越放送取締役相談役
- 第33回 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ 平成24年1月31日
講師/飯室織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営
- 第34回 神輿で街の元気を呼び覚ませ 平成24年2月28日
講師/相原 哲さん ながの町神輿連合会武睦会 会頭
- 第35回 長野とオリンピックレガシー 平成24年3月26日
講師/小林 亨さん 日本オリンピック委員会(JOC)勤務
- 第36回 すべてが一丸となって、ながのの宝もの。をJへ 平成24年4月24日
講師/薩川 了洋さん AC長野ハルセイロ監督
- 第37回 信州の野鳥たち 平成24年8月31日
講師/小宮山義光さん 日本野鳥の会長野支部会員
- 号外 門前まち花遊歩 一牛に引かれて善光寺参りー 平成24年9月1日

- 第38回 見る 学ぶ 体験する 自然農法 平成24年9月27日
講師/塩澤研一さん 農業生産法人水輪ナチュラルファーム代表取締役/(財)いのちの森文化財団 副代表理事
- 第39回 善光寺表参道と中心市街地のWi-Fi計画 平成24年10月25日
講師/俣田達男さん NTT東日本 長野支店長
- 第40回 しなの鉄道長野以北延伸と営業戦略 平成24年12月6日
講師/山田 隆さん しなの鉄道(株) 専務取締役
- 第41回 自然との共生 平成25年2月28日
講師/藤岡牧夫さん イラストレーター・絵本作家

- 第42回 花は人を育てる 平成25年4月9日
講師/矢澤秀成さん 園芸研究家/ながの花と緑そして人を育てる学校校長
- 第43回 人と組織の笑顔の創造 平成25年5月31日
講師/近藤京子さん カウンセラー/NPO法人「わくわく志事研究所」所長
- 第44回 信州の分水嶺 ～山と川と里～ 平成25年8月22日
講師/栗田貞多さん 写真家

- 第45回 長野市の魅力と不動産取引の発展性 平成25年11月20日
講師/鶴志田 明弘さん 野村不動産アーバンネット株式会社 企業不動産部専任部長
- 第46回 地域におけるバイオマス活用について 平成26年1月29日
講師/天野良彦さん 信州大学工学部物質工学科教授
- 第47回 AC長野ハルセイロー私のチームマネジメントについて 平成26年3月3日
講師/美濃部直彦さん AC長野ハルセイロ監督

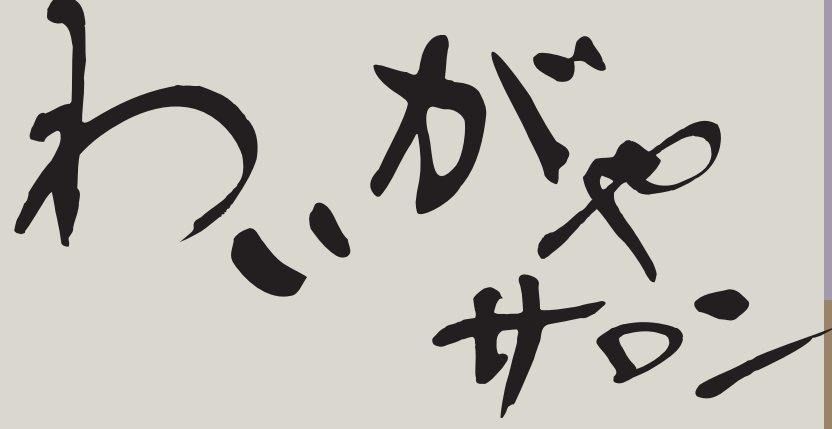
- 第48回 わたしにとってのボランティア 平成26年4月16日
講師/丸田 勉さん 脚本・演出家 森の家 林りん館館長
- 第49回 金沢の未来と長野へのエール 新幹線で結ぶ金沢と長野の絆 平成26年5月26日
講師/浅野邦子さん 株式会社 箔一 代表取締役会長
- 第50回 取材を通してみた長野の魅力 ～長野をもっと元気に!～ 平成26年10月8日
講師/平沢幸子さん 長野朝日放送 アナウンサー



NUPRI
Nagano Urban Policy Research Institute

NPO法人 長野都市経営研究所

〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166
www.nupri.or.jp
e-mail: nupri@nupri.or.jp



通信

Vol. 51
2015.2



AC長野ハルセイロ・レディースがめざすは、
“なでしこ”リーグ

第51回

チームマネージメント

平成27年1月19日(月) 18:00~19:15

講師／本田 美登里さん

AC長野パルセイロ・レディース監督

■座長：岩野 彰

場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911

2015年最初のわいがやサロンは、AC長野パルセイロ・レディースを2013年より率い、なでしこリーグ昇格に向け、チームのパワーアップに取り組んでいる本田美登里監督をお招きしました。企業においても大切な、人を育てる＝チームマネージメントのお話です。

マイナスからのスタート経験

皆さん、女子サッカーに接する機会がありません。ご存じないと思いますが、岡山県美作町みまさかちょう(現在は市)に岡山湯郷Belleという女子サッカーチームがあります。そのチーム立ち上げに関わらせていただいたことからお話しします。

美作町は温泉と芝生(瀬戸大橋架橋記念行事の一環として造られたサッカー場)がある人口1万3千人の小さな町。日韓WCのキャンプ地として手を挙げ、スロバキアがキャンプしましたが、そのままでは何も残らないから、美作をホームタウンとするサッカーチームをつくらせ、「町おこし」をしよう、となり、男子では日本一になるのに時間とお金がかかるが女子ならどうだ?と日本サッカー協会に相談にみえたのです。当時私は現場を離れて、協会で働いていましてスポーツビジネスにも興味があり、小さな町が女子サッカーによって経済効果が上がるというケース事例になれば、と監督を引き受けることになりました。選手も私が集める、選手たちの働き口も、チーム名も考えるというゼロからの出発でした。ところが、しばらくして、「議会を通してなかった」ために「この話はなかったことに」と。紆余曲折の末、2001年、官民一体となった地域密着の女子サッカーとして創部。2003年にはLリーグ昇格、日本一も夢ではないと町の人たちも応援してくれるように…その様子をTV取材したビデオがありますのでご覧ください。[岡山湯郷および本田監督を特集したニュース番組を上映]

私にとってゼロならぬマイナスからのスタートという経験を積んだ数年間でした。

(言ったほうが早い、)自分の判断により行動、を待つ

子どもサッカーの試合で、ずっと、ああしろ、こうしろ、今はダメだ、と大声を出しているお父さんやコーチ・監督がいます。自分もそうでしたが、子どもはただボールに触って、とにかくボールを蹴っているのが楽しくてサッカーをやりたい。自分で考えてサッカーをやりたい。

今、指導者として一番ぶつかっている壁は、下から横からアプローチしても伝わらない。選手たち自身が想像できない。口に出して言ったほうが早いのですが、ここは指導者として乗り越えなくてはいけないところだと思っています。彼女らが自分で判断して行動するのを待つ。こちらが描いているイメージと、選手、その隣の選手、またその隣の選手も同じイメージが



ほんだ みどり 静岡県清水市出身。小3よりサッカーを始める。1979～85年、清水大ハススポーツクラブ選手として全日本選手権4連覇。85～92年読売サッカー女子ベレーザ。87～97年日本代表としてプレー。現役引退後は各年代の女子日本代表の監督、コーチ。2001～11年、岡山湯郷Belle監督。07年日本女性指導者として初のJFA公認S級コーチライセンス取得。2013年より長野に

描けたら、うれしい。そうすれば楽しいサッカーになるはずですよ。

AC長野パルセイロ・レディース(以後「パ・レ」)の選手たちは皆働きながらサッカーをしています。企業の理解で勤務終了時間が2時間早くなり練習が4時からになりました。その2時間のお陰で、練習後のスケジュール(ケア、食事、就寝)が繰り上がるなど、環境が徐々に整ってきました。全員プロのチームなど、上を見てもキリがない。環境がもっとよくなるためには自分たちが強くなるほかありません。



AC長野パルセイロ・レディースの面々。本田監督の指導の下、チーム成績を13年11位、14年4位と順位を上げている(16チーム中)

結果を出す

強くなるためには資金が必要です。湯郷にいて痛切に感じたのは、強くなれば資金も集まる、ということでした。湯郷の選手たちの働き先は各旅館でしたが、一番忙しい時間帯は練習、土日や観光シーズンは遠征ですから、雇い側のいい顔は無理というもの。でも、優勝した途端、女将さんたちや町の企業さんの口ぶり対応が様変わりしました。

湯郷をやめた次はU-20のコーチをさせてもらいました。そこでも、選手たちの環境をよくしたいのなら、自分たちが結果を出さなくてはならないと強く思いました。それはパ・レにおいても、でしょう。

人間同士として向き合う

湯郷で自分の身体が思うようにいかず、自らパ・レに移ってきた横山久美が昨シーズンの得点王になるほどの活躍ぶりを見せました。苦しみを克服した横山や池ヶ谷夏美などの影響が他選手にも出て、パ・レは本気で日本一を目指しているチームだと示したのが昨季の躍進でした。

これまで私が信条としてきたのは、監督(私)が大人として嘘をつかないということ。下心があると子どもだろうが彼女たちだろうが分かってしまう。口先だけでは彼女たちはこちらを向いてくれません。最後まで人間同士として向き合おう、そういうチームになりつつあることを実感しています。

[パ・レのチームビデオを上映]

全力で挑戦

とにかく女子サッカーを何とかしたい、そういう気持ちで長野に来て2年、一生懸命さが少し人に伝染したかな、と思います。11人退団し苦しい最中です。でも母体の大原時代から残ってくれている選手もいるし、もしかしたら物凄い選手が来るかもしれません。そのためにぜひ就職先のご協力をお願いします。今年の長野は賑やかだそうですね。パ・レがその輪の中心に立てるよう、「人の心を動かす」ひいては「長野を動かす」、そんな試合が出来るよう全力で挑戦しますので、ぜひ応援をお願いします。

会場からの質問：なぜ、監督を引き受けたのか。長野の印象は？

条件云々ではなく、湯郷Belleに行ったときと同じ気持ち。未開発で可能性がある土地で女子サッカーを開花させたいと思ったんですね。何もないところからLリーグ(現・なでしこ)まで行けたのだから、長野でも出来るのではないかと。プラス、ホームスタジアムのJ1仕様改修を「市議会」が「全員一致」で決定したということもあります。(過去に「議会」で痛い目にあっていたもので)

車の運転とか、長野の第一印象はあまりよくなかったですね(笑)。でも真剣に話し合うことによって、とても一生懸命になる人たちがいる。むしろ多い。だからこちらも真剣に、一生懸命に、これからはやっていこうと思います。

過密スケジュールの中を縫ってかけつけてくださった監督。湧き出るパッションに大寒前日という寒さピークの窓外に舞う雪もとけていくようでした。

レディースの試合に足を運び、応援しましょう。そして、選手たちの就職先等にもお力を!



セレッソ大阪堺レディース戦(上)、静岡産業大学磐田ボニータ戦(下)